

メッシュ型流動人口検証 WG の設置について（案）

2018年10月4日

BD 連携会議事務局

「ビッグデータ等の利活用推進に関する産官学協議のための連携会議」（以下「BD 連携会議」という。）の開催要領（平成 30 年 5 月 22 日発行）に基づき、該当会議の下にメッシュ型流動人口検証 WG（以下「WG」という。）を設置する。

1. 目的

人口統計に関しては 5 年に一度の周期で国勢調査が実施されているが、効果的な活用のためには、より短い間隔での情報の把握とタイムリーな提供が望まれる。携帯端末情報を活用して滞在人口を把握することが技術的に可能となっており、携帯 GPS 起因のメッシュ型流動人口データの精度検証を行い、公的統計としての利活用が可能かの検討を行う。

2. 実施事項

Agoop 社から提供されるメッシュ型流動人口データと、2015 年国勢調査、及びモバイル空間統計（NTT ドコモ）との比較検証を行う。

3. 構成員

水野 貴之（国立情報学研究所）：主査
藤原 直哉（東北大学大学院情報科学研究科）
兵頭 大史（株式会社 Agoop）
飯島 信也（独立行政法人 統計センター）
菅 愛子（慶應大学経営管理研究科）

4. スケジュール

10 月：WG 設置
10 月～12 月：WG 活動実施、BD 連携会議へ中間報告
2019 年 1 月：WG 最終回
3 月：BD 連携会議へ最終報告

5. その他

WG の運営については、「ビッグデータ等の利活用推進に関する産官学協議のための連携会議」の開催要領（平成 30 年 5 月 22 日発行）を準用する。

以上